

令和 2 年 6 月 2 日現在

機関番号：14501

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K13587

研究課題名(和文) 現代イランにおけるイスラームと科学知の併存 環境分野のイスラーム議論を手がかりに

研究課題名(英文) Emergence of Islam on the Environment in Iran: An Anthropological Study on the Environment as an Object of Modern Science and Islam

研究代表者

阿部 哲 (Abe, Satoshi)

神戸大学・国際人間科学部・助教

研究者番号：90732660

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,900,000円

研究成果の概要(和文)：これまででは科学知が問題の所在や解決策の提示において中心的役割を担ってきたイランの環境分野で、イスラーム法学者・専門家がイスラーム的道德観を介して環境議論に加わり、新たな言説と実践が生まれ出されている。本研究では、環境分野で適用され始めた、イスラーム知に基づいた環境アプローチを多角的に考察し、その宗教的環境倫理や理論的裏付けに着目しながら、イスラーム知と科学知との併存関係性を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

近代化やグローバル化に伴う「変化」に対してイスラーム文化は不寛容で、後進的であるという論調がメディアに浸透している。本研究では、現地調査と文献資料調査に基づいて、このような論調を批判的に検討し、環境分野で現出するイスラーム的視座に注目しながら、時間や場所とともに変容し続けるイスラーム文化の多様性について理解を深めることを目的とした。

研究成果の概要(英文)：This study explores emergent Islamic discourses and practices concerning the field of the environment in Iran. It sheds light on some distinctive ways in which Islamic scholars and experts engage in environmental problems whose scope, questions, and characteristics had been hitherto defined largely by modern science. Research findings show that Islamic tradition is unfolding along with the framework of modern science, while uniquely developing Islamic ethics onto environmental attitude and behavior.

研究分野：文化人類学

キーワード：文化人類学 環境倫理 身体技法 近代化 宗教学 実践理論

## 1. 研究開始当初の背景

米国主導による経済制裁が強化された2011年以降、イランでは、石油輸入が著しく制限され、国内で精製される低品質なガソリンの使用・消費を余儀なくされてきた。そのため、特に同国の都市部において、排気ガスによる大気汚染をはじめとした様々な環境問題が顕在化し、国家の重要課題として認識されるに至った。イラン政府は、大気汚染問題(広くは環境問題)の収束を図るため、公共交通機関の拡充や交通規制の強化など様々な方策を講じてきたものの、国民の環境意識やかたちの自動車に依存した生活様式に期待した変化は見られず、抜本的な問題解決を果たせずにいる。そのような中で、近年、政府はアルターナティブな手段を講じて環境問題対策に乗り出した。草の根レベルで影響力をもつイスラーム指導者に協力を呼びかけ、イスラーム教義の視座から環境問題を発信し、国民の環境意識の底上げを図っている。

つまり、これまでは科学知が問題の所在や解決策の提示において中心的役割を担ってきた環境分野で、イスラーム法学者・専門家がイスラーム的道德観を介して環境議論に加わり、新たな言説と実践が生み出されている。多くのメディア論調では、科学知とイスラーム知は、後者の知的枠組みの「不寛容さ」の故に、互いに相容れないパラダイムであるとされてきたが、イランの環境分野において、両者は併存しながら推移していることが明らかになっている。こうした中で、研究代表者は、現地調査と文献資料調査を通して、環境分野で現出し始めたイスラーム知に基づいた環境アプローチを、その宗教的環境倫理、理論的裏づけ及び議論の展開のあり方に着目しながら、明らかにすることを本研究で試みることにした。

## 2. 研究の目的

イランでは、環境問題をめぐり多様なアクター(環境科学者、環境NGO、イスラーム法学者、一般市民など)が独自に関わり合い、議論を活発化させ、環境に関する言説・実践の形成に寄与している。とりわけ、イスラームはイランの国家アイデンティティの根幹を支え、国家戦略の観点からも必要不可欠な統治ツールでもあるため、今後、多岐にわたり諸分野でイスラーム知が展開していくことが予想される。近代化やグローバル化に伴う「変化」に対してイスラーム文化は不寛容で、後進的であるという議論を批判的に検討し、環境分野で現出するイスラーム視座に注目することで、社会・文化的脈絡の中で変容し続けるイスラームの多義性を理解することを本研究の目的とする。

## 3. 研究の方法

本研究では、イランで認知され始めたイスラーム的視座に根差した環境観について明らかにするにあたり、現地調査と文献資料調査を行う。詳細は以下の通りである。

### (1) 現地調査

環境問題の解決のために、直接的あるいは間接的に環境活動に携わっている個人・団体を対象に半構造的聞き取り調査を実施する。調査では、特に、著しく悪化しているイランの環境問題の現状と傾向、政府や関連機関による新たな取り組み、市民への反響などについて、彼らに質疑を行う。その際に、イスラーム知に基づいた環境アプローチについても言及し、環境活動における宗教的意義についても確認する。

上記に該当しないテヘラン市民にも、半構造的聞き取り調査を実施し、彼らの環境観や環境意識の変化、身近で会話されている環境に関する話題等について、情報収集を行う。

環境問題をテーマに扱った公共イベント(植樹活動、セミナー、会議など)に出席し、参加者の間で交わされる議論や論点を整理しながら、環境アプローチについての理解を深める。

### (2) 文献資料調査

調査地及びオンライン媒体で入手できる刊行物(新聞、雑誌、書籍)を対象に文献資料調査を行う。これらの資料を通して、イランにおけるイスラーム環境倫理の特徴、理論的裏づけ、議論の展開のあり方について検証する。また、関連イベント等で配布されるパンフレットや冊子などの資料も随時入手しながら環境分野に関する文献調査を行う。

## 4. 研究成果

現地調査及び文献資料調査より、イランにおけるイスラーム環境倫理観の特徴が明らかになった。近年、「イスラームと環境問題」をテーマに扱った、セミナーや国際会議が国内各地で開催されており、イラン政府がより積極的にイスラームの視点を援用しながら環境問題に対処していることが確認できた。環境庁関係者は頻りに各州の宗教指導者と懇談する機会を設けており、その際、宗教指導者に対して、イスラーム的観点から環境啓蒙活動を着手する要請を申し出ている。同様の理由で、教育分野においても、環境庁は宗教教育機関と連携体制の確立、強化を試みている。例えば、同庁は、シーア派イスラーム教徒の聖地ゴムにあるイスラーム女子宗教学

院と環境教育に関する協定を締結し、学生にイスラーム環境倫理を教授する教育方針を確認している。加えて、多数の著名なイスラーム法学者が、各人のウェブサイト上で環境問題に関する自身の所見を公開するなど、「イスラームと環境問題」に関する情報が身近なオンライン媒体を通して発信され始めていることも確認できた。その一方で、イランにおける環境分野の「政治化」が進んでいる現状も明らかとなった。本研究課題の調査期間中に、一部のイラン人環境活動家が政治的理由により当局に逮捕された、あるいは、彼らの活動が制限された、といった、これまで稀であった類のメディア報道がなされた。実際に、現地調査中、調査対象者から研究代表者に対して環境問題に関する政治的潮流に注意を払うことを促された。

上記のような政府及び当局による新たな環境対策の動向を追いながら、イスラーム教義を基底とした環境アプローチの特色について整理、分析を行った。具体的には、イスラーム法学者が環境倫理を構築する際には、聖典(クルアーンあるいはハディース)から適切と考えられる章句の解釈に基づいて規範を形作ることが一般的であるが、聖典のいかなる章句がどのように環境問題と関係(解釈)づけられているかという点について検証を行った。彼らは世界(環境)を、物質的観点から、人間社会を繁栄させるための利用可能な資源と考える一方で、世界を神による創造物としても理解しており、その利用には道徳的義務が伴うという見解も同時に有していることが明らかになった。

前者に関して、現地で得られたケーススタディによれば、宗教指導者は科学知の概念枠組みを介して発達してきた、環境保全に関する代表的環境アプローチである、「持続可能な開発」の理念やプロジェクトに理解を示しており、彼らの間では、この環境アプローチそれ自体に対して目立った反論姿勢は見られなかった。むしろ、イラン最高指導者がそうであるように、彼らはイラン国内における持続可能な開発プロジェクトを後ろ楯し、経済発展とともに環境保全にも配慮を示していることが明らかになった。

このような宗教指導者の科学知に対する肯定的な理解のあり方は、彼らがイスラーム知を基底とする環境倫理を提唱していく上で矛盾がないことも確認できた。とりわけ、彼らの環境問題の認識の仕方について多角的に考察を行うことにより、イスラーム環境倫理の特徴がより明確となった。彼らにとって、創造物としての環境とは、元来、絶妙な秩序と均衡を備合わせた存在であり、この秩序と均衡が、自意識を有する人間によって恣意的に歪められたときに、「問題」が生じるのである。創造物に対して、感謝・称揚すべき人間が、己の欲がままに生き、環境秩序を乱す行動をとるとき、道徳的義務を忘却した腐敗者とみなされる。このように、環境問題は、人間の腐敗した内的側面が地上世界に反映された帰結であると考えられ、イスラーム環境倫理によれば、その根本的解決には人間の内面の変革が必要とされる。すなわち、環境問題を解決していく上で必要とされるこのような実践は、創造物に対して過度の利用を慎むことはもちろんであるが、それは腐敗した自身を創造物に対して感謝・称揚できる自身へと変革する態度、感覚、記憶を修練する実践でもある、ことが明らかになった。以上のような調査結果を通して、なぜイスラーム法学者にとって、環境問題が物質的問題であるのみではなく、根本的に道徳的問題となりうるか、また、環境分野における科学知とイスラーム知との関係性についての知見を得ることができた。

本研究課題の総括として、研究代表者による主催で、2020年2月に国際研究会議を実施し、国内外の研究者と「近代化と宗教」のテーマのもと、現代宗教の実践的側面について、分野横断の見地から議論を深めることができた。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計6件（うち査読付論文 3件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Satoshi Abe	4. 巻 5
2. 論文標題 Ethnographic Encounters with Muslims in Taiwan: Exploration of their Religious Scenes and Experiences	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 多文化社会研究	6. 最初と最後の頁 239-247
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satoshi Abe	4. 巻 34
2. 論文標題 An Anthropological Inquiry into the Emergent Discourses and Practices of Environment in Iran: Framing through the Idea of Translation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本中東学会年報	6. 最初と最後の頁 35-62
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿部哲	4. 巻 4
2. 論文標題 現代イランにおけるイスラーム言説と科学知の併存 環境分野におけるイスラーム議論を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 多文化社会研究	6. 最初と最後の頁 217-232
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿部哲、寺野梨香、牛久晴香	4. 巻 4
2. 論文標題 ザンジバルにおけるフィールドワーク指導：コーチングフェローによる指導実践報告	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 多文化社会研究	6. 最初と最後の頁 451-473
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satoshi Abe	4. 巻 N/A
2. 論文標題 Islamic Debates on the Environment: An Examination of Religious Rationales in Contemporary Iran	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Research Forum, Kokugakuin University	6. 最初と最後の頁 59-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿部哲	4. 巻 25
2. 論文標題 イランの環境問題をめぐるイスラーム議論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 宗教と社会	6. 最初と最後の頁 224-225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

[学会発表] 計7件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 5件)

1. 発表者名 Satoshi Abe
2. 発表標題 Islamic Debates on the Environment: An Examination of Religious Rationales in Contemporary Iran
3. 学会等名 Religious Cultures in Asia: Mutual Transformations through Multiple Modernities (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Satoshi Abe
2. 発表標題 Islamic Debates and Hermeneutics: Examination of Environmental Ethics in Iran
3. 学会等名 International Sociological Association (ISA), XIX ISA World Congress of Sociology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 阿部 哲
2. 発表標題 イランの環境問題をめぐるイスラーム議論（テーマ・セッション「現代アジアにおける宗教の役割と多様性」）
3. 学会等名 第26回「宗教と社会」学術大会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 阿部哲
2. 発表標題 Compatibility of Islam and Modern Science?: An Anthropological Inquiry into Environmental Discourses and Practices in Iran
3. 学会等名 日本文化人類学会（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 増田研、牛久晴香、阿部哲、波佐間逸博、鈴木英明
2. 発表標題 ザンジバルにおける学部生の現地調査と学びの広がり 長崎大学多文化社会学部「海外フィールドワーク実習」の実践報告（ポスター発表）
3. 学会等名 日本アフリカ学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阿部哲
2. 発表標題 環境問題をめぐる現代イラン事情についての考察
3. 学会等名 第84回神戸大学人類学研究会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Satoshi Abe
2. 発表標題 Exploration of Religious Sensibilities in Iran
3. 学会等名 East Asian Society for Scientific Study of Religion (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 増田研、阿部哲、寺野梨香	4. 発行年 2018年
2. 出版社 長崎大学多文化社会学部	5. 総ページ数 214
3. 書名 現代ザンジバルにおける社会の動態：ローカリティとグローバル化のフィールドワーク	

1. 著者名 吉村慎太郎、福原裕二（編著者）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 花伝社	5. 総ページ数 336
3. 書名 現代アジアと環境問題 多様性とダイナミズム（仮）	

1. 著者名 Satoshi Abe, Tai Wei Lim (eds.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 World Scientific Publishing	5. 総ページ数 TBD
3. 書名 Modernization in Asia: The Environment/Resources, Social Mobilization and Traditional Landscapes across Time and Space	

〔産業財産権〕

〔その他〕

長崎大学多文化社会学部「研究活動」  
<http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/research/studyevent/studyevent-h28.html>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----